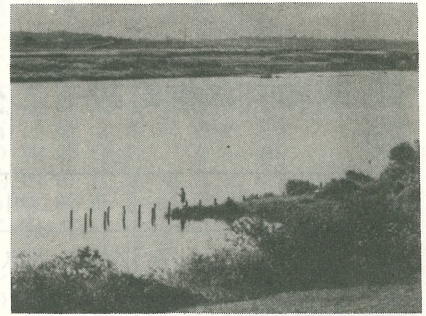




広報

とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和51年6月20日発行 No 147



51年度の町政モニター会議が5月22日、午後1時30分から役場の会議室で行われました。

この日はまず、マイクロバスで町内を一周して、主な公共施設や工場等を見学してから、再び役場へ戻り、町長から町の振興計画と本年度予算編成方針の概要について説明をきき、続いて懇談に移りました。

その結果モニターの皆さんからは40件の要望等がだされましたので、その回答とともに、ここに掲載いたしました。(1)頁から(6)頁までをご覧ください。

写真は、河川敷の運動公園予定地を視察するモニターの皆さん。



▲よくゴミが捨てられるようなところには有刺鉄線と写真のような立看板が…加納新田ひめみや沼。

町政モニターの記録

要望等40件とその回答

5月22日の会議から：

○新井 幸雄(布川)

(1)利根町にも高校の誘致をお願いしたい。

町長 隣りの藤代町には、県立高校が誘致され、当町か

らも通学している生徒がある現在、県内各市町村で県立高校の誘致合戦を展開しているが、藤代高校の場合は、申すまでもなく、隣接市町村が

協力して誘致に成功したもので、当町も負担金をだしているわけである。

そこで利根町の場合は、十年後を目標として、実業高校を誘致したいと考えている。

(2)歯科医が足りなくて困っている。

保険衛生課長 利根町には、押戸に一軒杉山歯科があるが

町はずれでもあり、交通の便もよくないので、一般にあまり知られていないようである。そこで、町民の皆さんは、交通の便利などところにと望むわけだが、全国的に医師が不足している現在、新たに開業するとなると、採算上の問題がでてくるわけで、当町とし

(2)頁へつづく

つづつて保存いたしました

昭和51年度町政モニター名簿一覧表

地区別 職業別	文	布 川	文 間	東 文 間
農 業	小山 武 勝村 明	酒卷 和久	伊藤 健治 古川 政雄 星野 重夫	杉野 和男 岩戸 秀雄 古山 文吉
商 業	根本 とし	新井 幸雄 高橋 国夫		若泉 光利
工 業		蛭原 寅吉	上原 隆雄	北沢 重昭
青 年	桜井 範子	若泉 隆志	石引 敬子	飯塚 義夫
婦 人 (主 婦)	細田 好枝	香取 照子	海老原マサ	宮本 ウメ
サラリー マン		海老原正吉 木村 武		
一 般	高野 通世	大貫 房雄	大野 瑞穂	山口 政一
団 地	湯山 好幸	菊田 宣夫 友廣 賢		

ては一日も早く宅造完成と人口の増加を図りご要望に添うよう努力する。

(3)旧気象測器工場の利用方法は、ないか。

町長 旧気象測器工場は、現在運輸省の所轄であり、町としては一日も早く払い下げのべく目下運動中であるが、利用方法については、完全に町の所有になってから考えた

(4)道路と各家庭の出入口の凸凹部分の改良をお願いする建設課長 現在、常総開発工業株式会社が改良補修中につき、まもなく完了する予定である。

○北沢 重昭(立崎)
(1)重患者や長期入院者の医療費の軽減については、その対策をお願いする。
保険衛生課長 だれしも皆明るく健康な家庭を望んでいる

しかし、いつ病気になるかわからず、そこで問題になるのが長期入院時の医療費である。

高額療養費支払制度は、この負担をいくらかでも軽減する意味でできたもので、患者の支払額が三万円をこえた分に対し、町が支払うことになっている。ただし、カルテの診査過程が二か月ほどかかるので、この間の支払いに対して町でな

らんかの対策を望むとのことであるが、小口貸付制度を厚生課で行っておるので、地区の民生委員(中谷、大野泉さん)に相談してご利用願いたい。

○岩戸 秀雄(中谷)
(1)町政モニターの意見がはたして町政に反映されるのかどうか。

町長 対話町政実現の一環として、広く地域住民の意向を聴取し、町政に反映させるという目的で、町政モニターを設置(昭和四十八年四月)したのであるから、その目的が達成されるよう最大の努力をはらっている。

(2)浄化センターの運営について

開発課長 本年六月一日から一部通水開始になるが、センターの運営については、県がみることになっている。

町ではこの運営について、県と約束をかわしてあるとおりに、公害の発生に十分注意をし、その対策として、役場及び町のかたがたを含めて、監視体制(公害対策委員会(仮称))を組織し、センター内に立入り調査ができるようにする。

○杉野 和男(加納新田)
(1)公共下水道の長期計画をお知らせ願いたい。

開発課長 現在計画されている下水道は、市街地(布川)を中心に北部台地と浄化センター付近の部落だけであるが将来、文間、東文間地区については、河内幹線(目下、県と河内村が検討中)が決定されると、幹線が加納新田地先きをとおることになるので、その計画に合わせて第二次計画を決定する。

(2)プールの件であるが、夏になつたら、すぐ使用できるような状態をお願いする。

教育長 今年は無事故のないように完全に整備して、いつでも使用できるようにしている。

(3)一部の業者によってこわされた道路(加納新田)の補修をお願いする。

建設課長 この件については土採取関係業者を役場へ呼んで、早急に補修するよう申し入れた結果、業者側から天候が定まり次第補修するという回答があった。

(4)農業構造改善事業の件について

(3)頁へつづく

いて、その後の対策はどのようなになっているのか。ことに惣新田及び加納新田についてお伺いする。

産業課長 基盤整備の件については、先般の懇談会のときに、各部落ごとに坪単位で話し合いを実施し、その結果、再度説明会を実施することになっていったが、地元の意向がまだに決定されていないようなので、一日も早く地元の意向を決定されるようお願いする。

○高野 通世(羽根野)

(1)浄化センターの恩恵を一日も早くわれわれ町民が受けられるようにしていただきたい。

開発課長 ご質問の趣旨は、浄化センターができたので、町の公共下水道を整備して水洗化してくれとのことと思うが、羽根野部落は、現在の計画が決定しているので、今後は、羽根野、早尾、北方団地と同一路線になっているため団地の造成とあわせて実施する計画である。

○海老原正吉(布川)

(1)土地利用の線引きの際には土地所有者だけに重点を置かず、一般の人たちにも参

加していただくようお願いする。

開発課長 昭和五十一年度中には、一部線引きの変更を計画しておるが、この地域については、四十九年に変更予定地であったので、その際も各部落ごとに懇談会を実施したが皆さんの集まりが悪く徹底しなかったと思う。今年も部落を対象に懇談会を行う予定なので、ご出席くださるようお願いする。

○若泉 隆志(布川)

(1)小・中学校のプールをわれわれ青年をはじめ、町民一般にも開放していただきたい。

教育長 昭和四十八年七月十日施行の学校プール管理規則によって解放する。

○若泉 光利(羽中)

(1)羽中であるが、排水堀の土を掘りあげたままになっているので、道路の役目を果たさなくなっている。早急に善処をお願いする。

建設課長 きくところによると、県で工事を行ったそうなので、早急に現地をみた上で

○星野 重夫(押戸)

県へ連絡して善処する。

(1)カーブミラーの増設をお願いする。押戸の根本寺前から県道へ出るところなど。
総務課長 六月五日までに必ず設置する。

○友廣 賢(白鷺の街)

(1)町の中心部を将来どこに考えておられるか。町長におききたい。
町長 布川周辺を考えている。

(2)取手協同病院は、新築中というが、場所はどのあたりか。

保険衛生課長 建設場所及び規模等についてお知らせする

○建設場所 取手市大字井野字除ヶ戸(キリンビル工場前)
○建物の規模 地下一階、地上四階

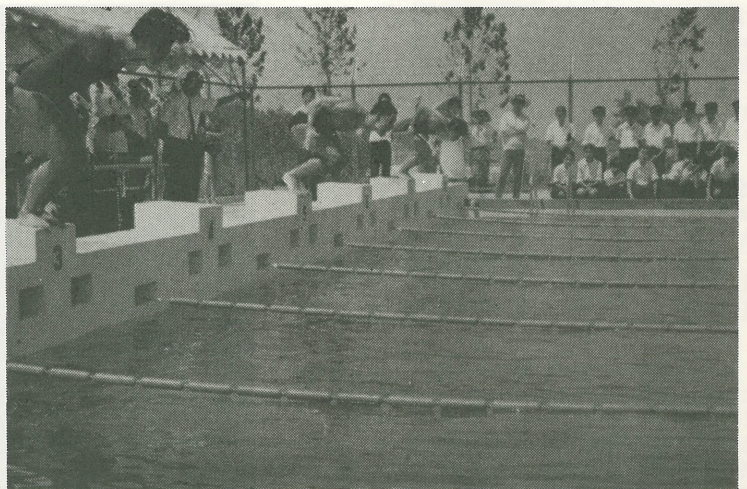
○ベット数 完成後四二八床

○本年九月一日開院時一六〇床

○構成人員 一四八名、内医師八名。完成後十一名に増員の見込み。

○急救医療について 国の指定は受けないが、それに準じて行う。

(3)都市ガスの具体的な計画について
町長 都市ガスについては



▲プールを青年や一般町民にも解放してほしいという要望がだされました。写真は、利根中学校のプール。

将来は全町を対象として布設する考えであるが、当面は団地を対象として布設する。ただし、白鷺の街は完成が早かったため布設されなかったが団地の住民の中で希望者が多い場合は、今からでも布設する用意はもっている。

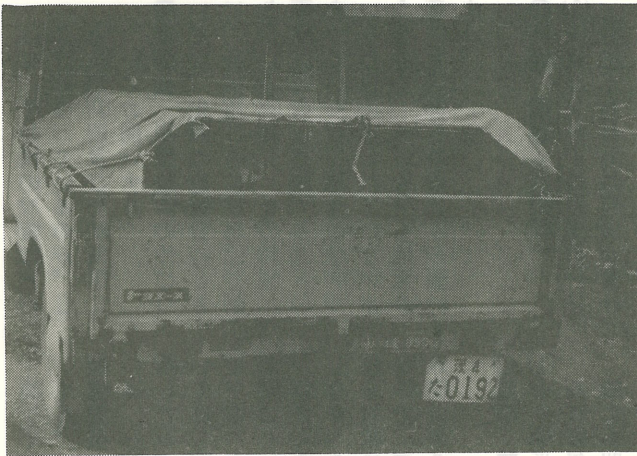
(4)町有沼のあたりを自然公園にしていただきたい。

開発課長 町有沼については、つり堀りを主体とした開発を

計画しておるが、周囲の町有地が少ないため、土地利用がむずかしく、本年度は、利根川の河川敷三ヘクタールを運動公園として整備することになっている。
もちろん、町有沼についてもご趣旨のとおり十分検討する考えである。

○菊田 宣夫(白鷺の街)

(1)人口増加に伴う通勤手段を
(4)頁へつづく



▲野犬や放し飼いの犬に対してきびしい対策を打ちだしてほしいという声がかれました。
写真は補獲された野犬。

十分考慮していただきたい
開発課長 団地造成については、計画の時点で町と協議し交通体系等打ち合わせをしてあるが、羽根野、早尾地区については、大利根交通を主体とし、取手駅までの運行回数増発及びバスターミナルの整備等の計画があり、目下、用地買収等まで話が進んでおり、皆さんの期待に添うことができると思う。

成田線についても、我孫子市及び沿線の関係市町村で促進期成同盟を結成し、複線化及び布佐駅の改築、最終ダイ

ヤの延長等について国鉄と話し合いを進めている。

(2)布佐駅からの最終バスをもう少しおくらせてもらえるようとり計らってもらいたい
町長 バス会社に要請して利用者のご希望に添うよう努力する。

(3)野犬または放し飼いの犬の対策について

保健衛生課長 犬を飼う場合生後三か月後登録をして、年二回の狂犬病予防注射をし、しかもつないで飼うことにな

っているが、それを怠る人が少なくないようである。そこで本年は、取り締まりをきびしくして以上のことを必ず守るよう指導する。

また、野犬については、現在、捕獲員が少なく、月に一回各市町村を回るのが精いっぱいであるが、かみつくような犬の場合は、すみやかにご連絡をお願いする。特別に捕獲員に来ていただき処置したいと思う。

とにかく子犬をむやみに捨てたり、放し飼いをしないよう皆さんのご協力をお願いする。

(4)幼稚園建設の件について、はつきりした回答がほしいたしか五十年後に建設されるという話であったが。

教育長 町立幼稚園は、五十年後に建設すべく予算措置を講じたことは事実であるが、布川小跡地は、反対の声もあり、私立幼稚園建設の動きがあったので中止した。

しかし、次の三点について見通しがついた場合は前向きに検討する。

①適当な用地がみつかった時点

②義務教育設備の見通しがついたとき

③財政上の見通しがたつたとき



▲元気にバスから降りる東文間保育園の園児たち
診療所、中央公民館前にて写す。

(5)空地の雑草対策をお願いする。

保健衛生課長 昨年末とりえず、布川地区周辺を対象に現地を視察し、雑草の繁っている土地の所有者に善処するよう協力を依頼した。

空地の雑草を放置した場合夏期は害虫の発生源となり、冬期は火災予防上好ましくないので今後ともよく検討して善処したい。

○桜井 範子(中田切)

(1)診療所や中央公民館を利用する人たちのために、あそこにて定期バスがとまるよう尽力してほしい。

町長 診療所は、現在のバス停から徒歩一、二分ぐらいなので不便はないと思うが、バス会社に要請して東文間保育園の園児だけは乗り降りができるようになってほしい。

(5)頁へつづく

(2)ゴミの不法投棄を規制して
いただきたい。

保険衛生課長

不法投棄は、町の美観を損ねるばかりでなく、カヤハエが発生して環境衛生上好ましいものではない。そこで町では、昭和四十四年度からゴミ収集車を毎日運転して収集にあたっておるが、夜間によそから来て捨てておくものがあつて、その対策に頭を痛めているのが実情である。このようなわけで、ゴミが捨てられる場所には、現在、有刺鉄線を張ったり、看板を立てたりして、不法投棄対策に取り組んでおるので、皆さんのご協力により、町をきれいにしてくださいようお願いします。(1)頁写真)

○石引 敬子(大房)

(1)文間小学校の正門付近の道路と排水路の区別がはっきりしないので危険である。

建設課長

ご指摘の場所は、本年度中に舗装することに決定しており、道路と排水路の境界にはガードレールを設置して事故のないようにしたい。

(2)大房、中谷回りのバスであるが、中谷の十字路に信号機が設置されてからUターンが不可能という理由で、

最終バスは大房までとなつてしまつた。利用者のごことを考えて従来どおり中谷まで運行するようお骨折り願いたい。

町長 これは関東鉄道バスであるが、ご要望に添うよう努力する。

○香取 照子(布川)
(1)掘井戸の水は、検査の結果



▲町の人が町で働けるようにとの声が…
写真は、中央軒フーズで働く人たち。

飲料不適ときいているが、町の上水道への加入は、すぐできるのかどうか。またかつては、しばしば断水があつたというが、現在はどうか。

水道係長 水道の加入は、水道加入負担金及び工事費を支払うことによつてだれでもできるよつた。

13mmが二万円。20mmが三万五千円である。断水の心配は現在はほとんどなくなつてい

○宮本 ウメ(立崎)

(1)四〇才を過ぎた主婦の働き場所を町内に求めていただきたい。

開発課長 立木台地、横須賀台地については、工場適地として県にも申請してあり、町としても工場誘致は十分考えているが、もう少し景気が回復しない限り、進出希望工場がないのと、業種によっては受け入れできない場合とがあるが本年中には皆さんの期待にそえるよう努力する。

○古山 文吉(惣新田)

(1)町の開発も大分進んでおるが、町の人が町で働けるよつた。

開発課長 前項に同じにつき省略。

(2)野犬が群をなしているのをみかけるので嚴重な対策を打ちだしていただきたい。
保険衛生課長 さきほどの問題と同じにつき省略。

○勝村 明(上曾根)

(1)上曾根の堤防下にむやみに

ゴミが捨てられておるが、ゴミを捨てる場所をどこかに作つていただきたい。

保険衛生課長 かつてゴミの捨て場を作つてゴミの処理をしたことがあるが、カヤハエはもとより野ネズミが異状に発生し、まわりの農作物に多大の被害を与え、耕作者に迷惑をかけてしまつた。

そこで現在は、組合立(竜ヶ崎市、牛久町、利根町、河内村)のゴミ処理場を作つて運営を開始している。

各家庭から出る野菜くず等は、月、水、金に、不燃物第一、第三木曜日に集積しており、大量のゴミについては処理場まで運搬すれば、1kg5円の割で処理してくれるのでご利用願いたい。

処理場の所在地 新利根村上根本
電話 029787120

17

(2)本年度は、文小学校が新築されるが、産業道路から小学校へ入るためのしっかりとした道路を作つていただきたい。
建設課長 ご指摘の道路は本年度の事業で作ることになつている。

○湯山 好幸(羽根野台)

(1)団地の造成により三万都市になった場合の交通手段はどのようなになっているのか
例えば、バス路線の整備とか運行回数の問題、または成田線のダイヤ等々。
開発課長 さきの回答と同じにつき省略。

(2)団地の中の公共施設、公園等の管理はどのようにになっているのか。
開発課長 団地内の公共施設については、原則として造成終了後町に移管されることになっているが、時期等については、会社と話し合って決めるたい。

(3)町勢要覧「とねまち」にみる道路の舗装について、その他の町道整備率〇・〇一%とあるが、これはどのようなことか。
建設課長 これはいわゆる農道のことであるが、幹線農道についても将来は舗装する予定である。

○蛭原 寅吉(布川)

(1)かつて布川中学校時代に体育振興会費をPTA会費とともに集金しておったが、私がPTA会長の時代にこ

れが体育振興会の名称のため、使途の限定を受けた。そこで、生徒の他の発表会等は、自己負担で出席していたため、体育振興会と名称を変更して、生徒全般の活動に使うことができるよう総会の承認を得て現在に至っている。

しかし、このような父兄負担は当然義務教育課程では公費でまかなうべきであり、早急に廃止していただきたいと思う。教育長の方針をおききたい。

教育長 小・中学校のPTA以外の父兄負担については、今後完全に廃止する方向に努力する。

(2)布川小学校の跡地の利用方法については、いろいろ問題があったようだが、文小学校の跡地をどのようにするかは、地区の住民の意向を聞いてから町の施策を打ちだしていただきたい。

教育長 ごもつともなことであり、蛭原さんの言われるとおり、地元のかたがたの意向を十分尊重して町の施策を打ちだす考えである。

川は自然のお母さん

川は、山のむこうに雨がふると生まれます。そしてながい旅がはじまります。旅の途中で花やいろいろな植物の栄養分になります。

小鳥のみみずや川の中で生活をしている魚もおります。また、トンボのように川に卵

を生み、おとしみずの中で育ち、成長してから地上で生活をする昆虫もおります。

そしてわたくしたちのため、ダムで電気をつくり、消毒をしてみみずに使って工業用、産業用として利用しています。

この大切な川の水をみんなの力で汚さないようにしましょう。

利根川のゴミを回収

毎年実施している河川の清掃を今年も5月13日に建設課と保険衛生課が主体となり、役場の職員で実施いたしました。

これは、建設省が行っている「河川美化月間」にちなんで行われたもので、今回は小貝川左岸川口付近と利根川左岸栄橋付近のゴミや空カン・空ビン等小型ダンプに山ほど回収しました。

皆さんも河川の清掃美化にご協力くださるようお願いいたします。



▲「河川美化月間」にちなんで、川に捨てられた空カンなどをたくさん回収いたしました。(5月13日)



：利根町人事：

【退職】 六月一日
出納室 中久木和子

議会だより

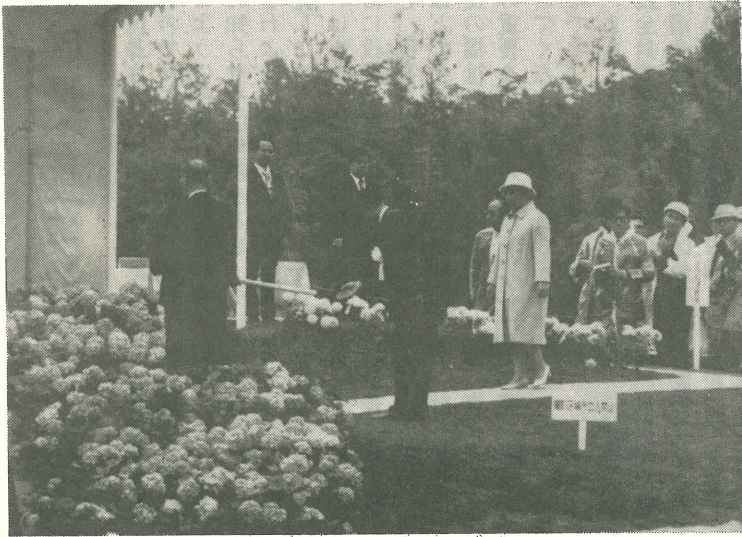
利根町税条例の一部を改正

【第二回利根町議会臨時会】

昭和五十一年第二回利根町議会臨時会は、五月二十日、午後二時から役場の会議室で開かれ、別記の二件につき、地方自治法第一七九条第一項の規定に基づいて行われた専

○別記一 利根町に収入役を置かない条例の廃止について この件は、昭和五十年十一

○別記二 利根町税条例の一部改正について この件は、地方税法の改正に伴い利根町税条例の一部が改正されたもので、公布の日から施行し、本年四月一日から適用されました。



▲この日 天皇、皇后両陛下は、それぞれヤマザクラ1本、スギ2本を「森」の形にお植えになりました。写真は皇后陛下。

月七日から施行された「利根町に収入役を置かない条例を廃止し元に復したものです。この条例は、本年五月一日から施行。



▲全国植樹祭に参加して、記念植樹をされる利根町代表者の皆さん。

全国植樹祭に 利根町からも参加

第27回全国植樹祭が5月23日、久慈郡大子町高柴台に、天皇、皇后両陛下をお迎えして「緑を育て守ろう大地」をテーマに開催されました。この日は、期待に反し、朝からかなり強い雨となりましたが、利根町からも各種団体等の代表者50名が、この祭典に参加し、スギやヒノキの苗木を記念植樹し、意義深い一日を過ごしてまいりました。

破傷風予防注射 のすすめ

破傷風は、たいへん恐い病気です。この病気がかかったら、ほとんど助からないほど死亡率の高い病気です。

この恐い破傷風のばい菌は、どこにでもいて、けがをしたり、くぎでふんぎをしたりしたとき、この菌に汚染されますと、破傷風になる心配があります。

しかしながら、この恐い破傷風をほとんど100%予防できる方法があります。

これが破傷風の予防注射なのです。この注射を三回しますと、どんなけがをしても、完全に破傷風から守ることができます。この予防注射は副作用もほとんどなく、完全な上に、最も有効な注射です。

町の保健衛生課が町民の皆さまの健康を守るため、こんど破傷風の予防注射を計画されましたので、この機会に一人でも多くのかたが、この予防注射を受けられるようおすすめします。

利根町医師団

- 荒木 恒夫
- 近藤 通世
- 杉山 七郎

区長会長に鈴木 吉氏再選

区長さんの仕事は並大抵のものではございません。毎日のように役場から配達されるお知らせや広報紙などを、手覧したり、配付したり、あるいはまた、防犯灯の修理のために役場へ連絡にこられるなど、例をあげればきりもないほどですが、とにかく地域住民の福祉のために、町当局との重要なパイプの役割を果たして下さるのが区長さんでした。

また、区長会は、町内の区長全員で組織され、町行政の円滑な運営を補佐し、区長相互の親睦を図ることを目的として、昭和43年4月に結成さす、現在に及んでいるわけですが、この区長会の総会が5月29日、午前10時から役場の

会議室で開かれ、次のとおり新役員が決まりましたのでご紹介いたします。

区長さんごたの日ごろの苦勞に対し、厚くお礼を申し上げます。

会 長 鈴木 吉
副会長 細田覚一、大野 修
山崎 近
会 計 渡辺正吉、鈴木 正
監 事 岡野 勝、小倉裕興
顧 問 町長小島栄一郎、町議会議長関口喜一

杜協だより

愛のブザーのとりつけ完了

かねて準備中だった独居老人宅への「愛のブザー」設置については、皆さまのご協力のおかげで完了いたしました。

これについて、ブザーの発信をお受けくださるかたがたが、心よくお引き受けくださりまして、ご協力をいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。

また、布川の生芝正溪先生からは、線を引くために必要な柱(孟宗竹)十七本のご寄付をいただきました。ご報告とともにお礼を申し上げます。なお、この設置に必要な経費は、そのつど「広報とね」で報告してまいりました善意銀行預託金から支出いたしました。

東京電力が電気の点検修理サービス

東京電力竜ヶ崎出張所では独居老人宅の電気の配線、器具の診断を行い、不良箇所を修理して、電気事故等が出ないように無料サービスしてくださいます。

善意の預託

小沢 満栄さん(布川台)から 三〇、〇〇〇円 社会福祉事業に善意の預託がありました。ありがとうございます。有効に使わせていただきます。

心配ごと相談所

毎週月曜日午後一時から、利根町公会堂に相談員がお待ちしております。気軽においでください。

法務局から係官

なお、本年も心配ごと相談所に法務局係官が、次の日程で出向され、相談に応じられますのでお知らせします。

7月19日
9月20日
11月15日
12月20日

2月21日



社会教育委員会 新たに委嘱

社会教育委員の任期満了に伴い、本年四月一日付で、後記の七名のかたが、新たに社会教育委員に委嘱されました。

委員の仕事の内容は「社会教育に関する諸計画を立案すること」「定時または臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対し意見を述べる」等々です。

社会教育が重要性をましている今日、委員のかたがたの活躍が期待されます。なお、委員の任期は二年です。

- 委員長 鈴木 嘉昌
- 副委員長 桜井 悦子
- 委員 榎本 敬吉
- 委員 加納 敬子
- 委員 北見 正夫
- 委員 角田 利雄
- 委員 金沢 茂

区長名簿一覽表

文 地 区

部落名	区 長 名	戸 数
早 尾	坂本芳太郎	43
大 平	五十嵐美則	10
横 須	五十嵐邦夫	72
羽 根	細田 覚一	57
上 曾	飯田 忠一	60
下 曾	吉浜信次郎	22
下 井	渡辺 昭吉	17
押付新田	五十嵐朝則	53
中 田 切	坂本 輝夫	43
羽根野台	星野 光二	112

布川地区

押 付	石塚 勘一	17
内 宿	鈴木 正	135
浜 宿	海老原 亮	37
馬 場	白井 庄次	178
谷 原	小松原 清	32
番 割	藤代 春江	8
中 宿	永田 高次	68
上 柳	杉野 一郎	67
下 柳	桜井菊三郎	53
布川台	鈴木 吉	76
白鷺の街	槍 幸男	230

文間地区

奥 山	石川 恵一	26
押 戸	岡野 勝	117
大 房	大野 修	124
立 木	木村 清	145

東文間地区

羽 中	金子豊次郎	69
福 木	石塚 芳男	56
中 谷	大塚 徳孝	84
立 崎	小倉 裕興	74
加納新田	山本 七郎	102
惣 新 田	山崎 近	61

沼崎さんの水田で 投げ苗植えの実験

代播きや田植えの重労働から解放されたいと願うのは、農業の経験者ならだれしも同じことですが、機械を使わないで、あぜから苗を投げるだけで田植えはOKといういわゆる水稲の投げ苗植えの実験が、5月7日加納新田の沼崎嘉文さん所有の約5アールの水田で行われました。

この方法は、まずカブマキポット(育苗箱と同じような箱の中がタテ・ヨコ16mm、深さ25mmに区切られていてマスのようになっている)の中に土を入れ、種モミを2〜3粒まきつけます。

このようにしますと、苗の発育とともに根が発達して土を巻き込み、投げるときに根の部分が自然に下になり、水田に植えつけられるようになるのです。



▲沼崎さんの水田で行われた投げ苗植えの実験。活着は非常によいとのことですが、秋の収穫高が注目の的となっております。

田植えは、できるだけ多くの苗をわしづかみにして空中に投げ上げます。このとき約60%ぐらいの苗は適当に投げ残りの約40%の苗をまばらなところをめぐらして投げるようにします。

現在は、まだ一般農家には普及しておりませんが、試験場等で研究が続けられており、一名空中田植えとも呼ばれるこのような方法もあるということをお知らせいたします。

赤十字からの お願い!!

町内の皆さん、いつも赤十字に深いご理解をいただき感謝に堪えません。

皆さんの暖かいご理解により、年々社費目標額の達成もみごとな成果をあげることができ、おかげをもちまして、赤十字の人道的任務が遂行されつつありますことを心から感謝申し上げます。

ことしもまた、五月一日から日本赤十字社員増強運動が行われましたが、本年度は戸毎に一人は三〇〇円社員になつていただき、よりいっそう

の使命達成ができますよう特段のお力添えをお願いしたいと存じます。

赤十字では、ただいま人道博愛の使命を果たすために、幅広くたくさんな事業を行っておりますが、大別しますと次のようになります。

- (1)災害の救護 (2)市町村へ災害救援車の配備 (3)寝たきり老人の健康診査 (4)病院、看護学院、血液センター、乳児院の経営 (5)看護婦の養成 (6)赤十字三大講習(救急法、家庭看護法、水上安全法)、(7)青少年赤十字の育成 (8)愛の献血運動 (9)身体障害者福祉事業 (10)国際救援運動 (11)赤十字思想の普及等です。
- このような事業が遂行されるためには、皆さんに三〇〇円社員になつてご協力いただくことが大切です。

赤十字は、このような事業を遂行するためにも、一人でも多くのかたが社員になっていただき、本年度の国際標語である「行動する赤十字」を目標として、世界平和のためこれらの尊い事業を行ってゆく方針です。

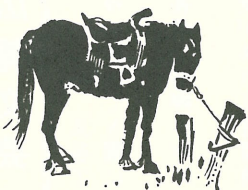
どうか本年も皆さんがたの善意あるご協力をお願いいたします。

公民館 運営審議会 委員も

公民館運営審議会委員の任期満了に伴い、本年四月一日付けで、後記の七名のかたが新たに委員に委嘱されました。委員の仕事の内容は「館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について調査審議するもの」です。公民館の事業もいよいよ軌道にのってまいりましたが、更に委員のかたがたの活躍をお願いいたします。

委員の任期は二年です。

- 委員長 鈴木 力
- 副委員長 下村 政夫
- 委員 福田 広志
- 委員 桜井 幸男
- 委員 杉野八重子
- 委員 角田 喜代
- 委員 高野 文夫



商工会だより

●通常総会開催す

昭和五十一年度の通常総会を五月二十五日午後二時から利根町公会堂で開催いたしましたので、その模様をお知らせいたします。

会 員 二二二名
出席者 八八名
委任状 四六名

理事星野道雄氏の司会により総会を進行。副会長中谷孝氏が過半数出席により、総会は成立する旨を報告して開会のことばを述べる。

会長新井太郎氏のあいさつに続いて、議長に玉村明氏が指名選任される。

議長一任により書記に地脇三城、星野忠一の両氏を任命し議事に移る。

○第一号議案 昭和五十年度収支更正予算(案)について

て提案

当初予算総額

七、五〇七、一六八円
更正予算総額
七、八六七、一二三円

異議なしにて可決する

○第二号議案 昭和五十年度事業報告並びに収支決算承認について

収入総計
七、八八六、二八三円

支出総計
七、三九三、八三六円

収支決算の朗読に続いて、監事市川一男氏から監査の結果「適法正確であったことを認める」との報告があり、一同異議なしにて承認可決。

○第三号議案 昭和五十一年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について提案

予算総額

八、五八三、〇二七円
異議なしにて原案どおり可決。

○第四号議案 昭和五十一年度商工会借入限度額並びに借入金融機関の決定について(案)提案。

借入限度額
二、〇〇〇、〇〇〇円

借入金融機関
常陽銀行利根支店

借入許容期間
当該総会翌日から翌年三月三十一日まで及び四月一日から次期通常総会日まで

異議なしにて原案どおり可決。

○その他の件について
・関口博司氏「商工会名で広告・販売等の斡旋、推せんをする場合は、調査委員会を設置して調査後証明書を与えてはどうか。」

・商工会長「次の理事会で調



●源泉税(納期特例は)七月十日までに

一月から六月分までの源泉税は七月十日までに納付することになっております。お忘れなく。

●源泉税個別指導

日時 七月五日
場所 中宿集会所
税理士 岩田信吾先生

●店舗診断申込受付中

(利根町商工会事務局)

広報文芸

俳句： 布川 三谷てるを
躑躅萌ゆ一日楽しき園にあり

草青む長堤一筋郷へバス

田園に夜が来れり目借時

白牡丹その驕奢を許さばや

大房 坂本さちを

全国植樹祭三句
植樹祭兩陛下とも傘さして

山深く杉植えて雉子放ちけり

雉子鳴いてお手植えの山桜かな

六月の赤き木の実よ子守唄

町勢 (昭和51.6.1現在)			
世帯数	2,274	男	4,830
人口	9,795	女	4,965
発行所	利根町役場	係	2211, 2212
編集長	小島栄	課	2213, 3733
電話	利根		(029768)
印刷	倉沢印刷株式	会社	